

2020年度 事業報告書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

目 次

P1～P4	法人の概要
P5	事業の概要
P6～P7	湊川短期大学事業報告
P8～P9	三田松聖高等学校事業報告
P10	湊川短期大学附属西舞子幼稚園事業報告
P11	湊川短期大学附属神陵台幼稚園事業報告
P12	湊川短期大学附属北摂第一幼稚園事業報告
P13	湊川短期大学附属北摂中央幼稚園事業報告
P14	湊川短期大学附属北摂学園幼稚園事業報告
P15	湊川短期大学附属キッズポート保育園事業報告
P16	湊川短期大学附属ぽるとこども園事業報告
P17	財務の概要
P18	2020年度財務報告
P19～P20	過去5ヵ年の財務推移表

学校法人 湊川相野学園

学校法人湊川相野学園 2020年度 事業報告書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

1 法人の概要

1 建学の精神

本学の教育は、校祖幸田たま女史の何事にもくじけぬ不屈の精神と、誠を持って貫き通す強い意志の力とを基本とする。

平和を尊び、高い徳性と健全な心身を備え、新時代に即応できる知性や技術を身につけた、有為な社会人を育成する。

2 学園教育目標

・ 創意創造の精神

日々新たにまた日に新たなりの意欲のもと、科学心を啓培し

・ 誠実不壊の信念

和敬協調、自律自修の信念をもって、挙措清楚に意志凜然と

・ 全人的人格形成

高邁なる英知、豊かな情操を涵養して、心身を錬磨し、清く正しく強い、時代に
適応できる有為な社会人を育成したい。

3 設置する短期大学・高等学校・幼稚園・保育園の名称及び所在地

(1) 湊川短期大学

(人間生活学科・専攻科健康教育専攻・幼児教育保育学科・専攻科生活福祉専攻)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(2) 三田松聖高等学校(普通科・特進コース・総合コース)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(3) 湊川短期大学附属西舞子幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒655-0043 兵庫県神戸市垂水区南多聞台5丁目8-1

(4) 湊川短期大学附属神陵台幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒655-0041 兵庫県神戸市垂水区神陵台5丁目8-6

(5) 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成23年4月1日認可

〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘4丁目10番

(6) 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

(7) 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒669-1337 兵庫県三田市学園7丁目1-3

(8) 湊川短期大学附属キッズポート保育園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

(9) 湊川短期大学附属ぼるとこども園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目3番1号2階

4 役員・評議員の概要

【役員】定数 9人以上11人以内

監事 2人

理事長(常) 浅井 祐子 H.19.4.1

監 事(非) 下山隆一郎 H.13.4.1 税理士

常務理事(常) 山野上素充 H.25.4.1

監 事(非) 木 寅 文 雄 H.25.4.1 無職

常任理事(常) 堀 忍 H.17.4.1 法人事務局長

(2名)

常任理事(常) 末 本 誠 H.28.4.1 短期大学長

常任理事(常) 川 崎 宏 紀 R. 2.4.1 高等学校長

常任理事(常) 原口富美子 H.24.4.1 附属幼稚園長

理 事(非) 柳 田 昌 三 H.13.4.1 無職

理 事(非) 小 室 烈 生 H.14.4.1 無職

理 事(常) 大 前 衛 H.18.4.1 短期大学教授

理 事(非) 仁 木 照治 H.31.4.1 会社役員

理 事(非) 正 岡 泉 H.31.4.1 会社顧問

(11名)

【評議員】定数 19人以上25人以内

評 議 員 浅井 祐子 H.15.4.1

評 議 員 金 澤 敦 夫 H.29.4.1 短期大学事務局長

評 議 員 山野上素充 H.25.4.1

評 議 員 舟 本 康 弘 H.29.4.1 高校事務室長

評 議 員 堀 忍 H.13.4.1

評 議 員 大 前 衛 H. 1.4.1

評 議 員 末 本 誠 H.28.4.1

評 議 員 澤 井 優 男 R. 2.4.1 高等学校教頭

評 議 員 川 崎 宏 紀 H.27.4.1

評 議 員 藤本まり子 H.21.8.1 同窓会長

評 議 員 大 前 成 美 H.25.4.1 附属幼稚園長

評 議 員 稲 山 悟 H.29.4.1 地方公務員

評 議 員 大 西 清 志 H.31.4.1 附属幼稚園長

評 議 員 喜 多 弘 樹 H.29.4.1 会社員

評 議 員 大 前 通代 H.26.4.1 附属幼稚園長

評 議 員 柳 田 昌 三 H.9.4.1 無職

評 議 員 原口富美子 H.14.4.1 附属幼稚園長

評 議 員 田 仲 正 之 H.14.4.1 無職

評 議 員 中 井 重樹 H.26.4.1 附属幼稚園長

評 議 員 中 田 初 美 H.29.4.1 NPO法人副理事長

評 議 員 馬 越 美佳 H.27.4.1 附属保育園長

評 議 員 小 室 烈 生 H.14.4.1

評 議 員 萩 原 文 R. 2.4.1 附属保育園長

評 議 員 大 西 則夫 H.17.4.1 法人総務部長

(24名)

【責任限定契約】

私立学校法に従い責任限定契約を締結した。

(1) 対象役員氏名

(非業務執行理事) 柳田昌三 小室烈生 仁木照治 正岡泉

(監 事) 下山隆一郎 木寅文雄

(2) 契約内容の概要

非業務執行理事等として、善意かつ重大な過失がなく、その任務を怠ったことにより本学園に損害を与えた場合は、金50万円と非業務執行理事等がその在職中に学校法人から職務執行の対価として受け、又は受けるべき財産上の利益の1年間当たりの額に相当する額として私立学校法施行規則第3条の3に定める方法により算定される額に2を乗じて得た額との、いずれか高い額を責任限度額として学園に対し損害賠償責任を負うものとする。

(3) 締結日

2020年3月27日

5 設置する学科等の名称及び募集定員と学生・生徒・園児、教職員数

(1) 湊川短期大学

(単位：人)

湊川短期大学	募集定員	収容定員	学生数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
人 間 生 活 学 科	50	100	79	8	14	8	2
幼児教育保育学科	100	200	154	15	16	9	4
専攻科健康教育専攻	10	20	6				
専攻科生活福祉専攻	10	10	2				
合 計	170	330	241	23	30	17	6

(2) 三田松聖高等学校

(単位：人)

三田松聖高等学校	募集定員	学則定員	生徒数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
総 合 コ ー ス							
特 進 コ ー ス							
合 計	270	810	744	60	4	11	2

(3) 湊川短期大学附属幼稚園

(単位：人)

	募集定員	認可定員	園児数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
西 舞 子 幼 稚 園	70		201	15	11	0	2
神 陵 台 幼 稚 園	62		153	15	8	0	1
北 摂 第 一 幼 稚 園	110		232	20	15	1	1
北 摂 中 央 幼 稚 園	100		256	17	16	1	1

北摂学園幼稚園	85		142	11	16	0	0
合 計	427		984	78	66	2	5

(4) 湊川短期大学附属保育園

(単位：人)

	募集定員	収容定員	園児数	保育士数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
キッズポート保育園	15	70	78	19	6	2	7
ぼるとこども園		19	17	8	2	0	0
合 計	15	89	95	27	8	2	7

※ 学生・生徒・園児・教職員数2020年(令和2年5月1日現在)

2

事業の概要

2020年度の主な事業

(短 大)

ブロック塀補修工事	6,270,000	(株)松田組
楠木寮南棟2階 各部屋改修工事 (防カビ塗装)	880,000	但南建設(株)
翠光寮自動火災報知機設備更新工事	880,000	三住管財(株)
楠木寮、菊水寮 コロナ対策間仕切りカーテン工事	627,000	インテリアかとう
L R 直立複式 3連6段 一式2台	936,100	キハラ(株)大阪支店
短大3号館342研究室エアコン取替	484,000	(有)花崎電気工事
学生会館食堂 券売機	616,000	グローリー(株)

(高 校)

施設漏水修繕工事	539,000	但南建設(株)
大型プリンター	294,800	(株)日興商会
ゴミ収集庫設置	201,520	(株)藤原建具センター
第1応接エアコン修理	378,400	(有)花崎電気工事
東側テニスコート人工芝張替	4,444,000	日本体育施設(株)
水道凍結による破損修理復旧工事一式	1,023,000	(有)なべい設備商会

(西舞子幼稚園)

オーニング・ダブルパーネ	1,109,700	チャイルド社
パソコン2台	264,000	N E C フィールドディング(株)
ジアイーノF-JML30-W4台 (コロナ対策)	636,460	パナソニック建設エンジニアリング(株)

(神陵台幼稚園)

パソコン4台	479,160	N E C フィールドディング(株)
職員室エアコン更新工事	520,000	(有)島田電器
ジアイーノF-JML30-W6台 (コロナ対策)	954,690	パナソニック建設エンジニアリング(株)

(北摂第一幼稚園)

照明LED化工事	1,183,259	(有)花崎電気工事
ダイキン加湿空気清浄機2台 (コロナ対策)	281,600	(有)花崎電気工事
セーフティスペース施工	2,970,000	(株)ジャクエツ神戸店
厨房設備改修工事	233,860	(有)なべい設備商会
パソコン2台	265,870	N E C フィールドディング(株)
ポルタリング	923,560	(株)防犯革命

(北摂中央幼稚園)

照明LED化工事	2,303,070	(有)花崎電気工事
厨房エアコン取替工事	713,570	(有)花崎電気工事
トイレ改修	2,664,200	(有)なべい設備商会
手洗場改修	2,063,600	(有)なべい設備商会
厨房内設備改修工事	241,230	(有)なべい設備商会
グラウンド改修工事	1,210,000	日興建設(株)
非接触 セルフ温度計 (コロナ対策)	359,400	フレーベル館
くまのメルヘン収納庫	561,000	(有)兵庫ワンダー社
パソコン2台	264,000	N E C フィールドディング(株)
次亜塩素酸 空間除菌脱臭機 (コロナ対策)	246,400	(株)カンサイ

(北摂学園幼稚園)

駐車場用地 (三田市学園7丁目1番9・10)	99,990,000	兵庫県
照明LED化工事	1,288,617	(有)花崎電気工事
エアコン取替工事	475,310	(有)花崎電気工事
駐車場整備工事	490,380	(株)堂本
調理室整水器取替工事	264,000	但南建設(株)
ダイキン空気清浄機 (コロナ対策)	385,000	株式会社成栄

(ぼるとこども園)

2階廊下・トイレ屋根漏水補修工事	522,500	山陽建材工事(株)
------------------	---------	-----------

2020 年度 湊川短期大学事業報告

<概 観>

昨年度はコロナ禍を受け、予定した取り組みが停滞を余儀なくされた部分もあるが、下記のような行動計画の進捗があった。

中期計画には 2020 年度の行動計画として 45 の課題を挙げており、ここには成果を見たものに限って記載する。残りは 2021 年度以降、継続して取り組んでいく。

1. 学修成果の充実と能力形成

(1) 教育理念を掘り下げる

- ① 教育理念を掘り下げる活動として、建学の精神を掘り下げる論文 1 本が短大紀要に掲載された

(2) 自己充足と社会評価が両立した人材育成

- ① コロナ禍の下で学生に学修を保証するために、遠隔授業のほか同一内容を複数回繰り返す分散対面授業を実施し、卒業・進学にこぎつけた。この取り組みの中で、遠隔授業を成立させるべく教員全員がオンライン授業のスキルを習得した。
- ② 授業管理を強化し、1 単位当たり 15 時間授業を徹底した。
- ③ コロナ禍による制約を受けたが、遠隔授業の導入や分散登校などにより無事所定の授業を終了した。

人間生活学科、幼児教育保育学科とも、学外の実習受入先を確保し、一部を授業などで代替することなく、希望する学生全員について通常通りの学外実習を実施することができた。また実習指導も、遠隔により実施した。

人間生活学科では、ゼミ指導体制を単位とすることによって少人数体制をとり面談に加えて Zoom 等を使用して状況に応じたきめ細かい指導に努めた。

- ④ キャリア教育センターのエクステンション・プログラムと連動した、レメディアル教育の充実を図った。

(3) 専門教育の充実

- ① 指導体制を強化し資格合格率の向上を図った。また、エクステンション・プログラムの導入により、公務員への就職の拡大を図った。
- ② コース制の導入を検討し、学生の保育者として特技（サブ能力）の獲得を可能にする指導体制の確立を目指したが、明確な体制づくりには至らなかった。
- ③ 研修会や合同の研究会など、学園連携事業と連動した附属園との連携に努めた。今後も継続して、本学園の保育の特質を体現した教育・実習を実施する体制づくりに努める。
- ④ 卒業生・就職先へのアンケート結果を、学生の専門教育に生かす体制づくりは、コロナへの対応に追われたため、十分ではなかった。

(4) 専攻科生活福祉専攻の発展・拡充

- ① 幼児教育保育学科との接続を目的として「生活福祉実践演習」を新設し、保育実習Ⅲにおいて専攻科での実習を視野に入れた実習指導体制を構築した。
また、「生活福祉基礎演習(1 年後期)」から繋がる科目として、「生活福祉実践演習(2 年後期)」を新設した。さらに、障害者施設などでの実習が主となる保育実習Ⅲの指導体制を強化した。

(5) 三田松聖高等学校との接続事業の開始

(計画) 学園連携プロジェクトの一部として三田松聖高等学校との高大接続を進める。

(成果)

- ① 三田松聖高等学校のオープンハイスクールのすべての回に、幼児教育保育学科の教員が参加した。
- ② 高校生への短大の授業を公開する準備として、次年度に向けた新たな科目の開設を決めた。

2. 学生支援体制の拡充

(1) 学生への学修およびメンタルな支援の拡充

(計画) きめ細かい指導をさらに徹底するために、学修・メンタル両側面からの学生支援の体制を拡充する。

(成果)

- ① 学科の学修支援体制を見直し、学生の学修支援体制の拡充を図った。
- ② 合理的配慮が必要な学生数が増加傾向にあるため、面談等を実施し専任教員、常勤講師等へ具体的な配慮内容を伝え、学生が授業に集中できるよう配慮した。

3. 短大のブランド化を志向しながら募集活動の効率化を図る

(成果)

- ① 募集活動は、コロナ禍のために高校訪問等で制約を受けたが、予約制のオープンキャンパスや臨時の説明会の開催などにより、本学の特徴を押し出した募集活動に努めた。
人間生活学科では、他学と比較した際の人間生活学科の強みを明確にし、それを伝えるための学科パンフレットを作成した。また、短期間（2年間）での成長イメージを伝えるための学科パンフレットを作成した。
- ② 高校訪問については訪問可能な地域は訪問し、その他の地域は電話による募集活動を実施した。
- ③ 出身校への学生の学修成果を周知させる活動は、キャリア教育センターが実施した。全学的な取り組みには至らなかった。
- ④ 広報活動の強化については、高校生専用ページで大学の情報を発信した。
- ⑤ 学生募集において、寮の魅力を位置づけた説明に努めた。

4. ガバナンスの強化

(成果)

- ① 第三者評価を受け「適格」の認定を受けた。評価項目すべてで高評価を得た。
- ② 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、いち早く危機管理対策会議を発足させ、『湊川短期大学感染症ガイドライン』を制定して対応したことにより、学生、教職員にひとりの感染者も出さず乗り切ることができた。

5. 経営の健全化

(1) 定常的な赤字体質を克服するための、具体的なプランを確立する。

- ① 学生の確保は、最低でも80%の確保を目指したが、115名（76%）に留まった。専攻科の入学者は5名であった。
- ② 教員組織の改編・縮小と新規採用教員をすべて特任での採用に切り替えることで教員人件費を削減した。
- ③ 教職員のコスト意識を確立するため、教授会で経営状況の報告・確認をし、学科ごとに学長との懇談会を開いた。
- ④ 学生に、コピーや電気等の無駄遣いの抑制を指導した。

令和2年(2020年)度 学校教育目標
「生徒が生き生き・伸び伸びと活動する学校」

I. 生徒募集状況

① 志願者・入学者・生徒数の推移 () 男子数

(毎年4月1日現在)

年度	募集定員	志願者数	入学者数	全生徒数	1年	2年	3年
H30(2018)年度	210	2,214(1,198)	290(185)	1,060(695)	290	377	393
R1(2019)年度	210	2,001(1,107)	252(157)	890(563)	252	281	357
R2(2020)年度	210	2,088(1,125)	228(150)	744(478)	228	244	272
R3(2021)年度	210	1,968(1,071)	250(157)	700(448)	250	215	235

② 特別進学コースと総合コースの生徒数・クラス数の推移

平成15年から「特別進学コース」と「総合コース」を設置。

年度	特進コース	クラス数	総合コース	クラス数	クラス数計	(毎年5月1日現在)
H30(2018)年度	71	3	989	27	30	
R1(2019)年度	50	3	840	23	26	
R2(2020)年度	49	3	695	20	26	

II. 進路実績(令和3年(2021年)4月現在)

卒業生総数 271名

- ・ 4年制大学: 104名(38.3%)
- ・ 短期大学 : 19名(7.0%)
- ・ 専門学校 : 96名(35.4%)
- ・ 就職 : 31名(11.4%)
- ・ 就職未定 : 13名(4.7%)
- ・ 進学未定 : 8名(2.9%)

III. 自己発見プログラムの結果

- ・ 特別進学コース1年7組 クエストカップ2021全国大会出場
(コーポレートアクセス部門(富士通) 27倍の狭き門を突破)

IV. 部活動の主な結果

- ・ 女子バスケットボール部: 県選手権大会「初優勝」、第73回全国高校選手権大会初出場(12月)
県新人大会ブロック優勝(ベスト4)
- ・ 男子バスケットボール部: 県選手権大会「5位」 県新人大会ブロック優勝(ベスト4)
- ・ 女子バレーボール部: 県私学選手権大会ベスト8
- ・ 硬式野球部: 県高校野球選手権大会 ベスト8
- ・ サッカー部: 県高校サッカー選手権大会ベスト32
- ・ 男子ソフトテニス部: 県高校ソフトテニス新人団体3位、近畿高校ソフトテニス選抜インドア大会
- ・ 陸上競技部: 全国高校陸上競技大会2020、近畿高校ユース 男子800m 出場
- ・ 水泳部: 県高校ジュニア女子50m背泳優勝、近畿高校新人女子50m背泳・女子100m
- ・ 吹奏楽部: 県アンサンブルコンテスト銀賞(クラリネット5重奏)

V. 令和2年(2020年)度の主な行事

- 4月8日 第70回入学式
- 6月1日 1学期開始短縮授業、15日より全学年登校 (～8月7日迄)
- 6月 松聖祭(文化の部) / 松聖祭(体育の部) 中止
- 8月1,8日 学校見学会(中学生見学者:計5453名 昨年比▼228) 参加制限
- 8月22,23日 第15回兵庫私立中学・高等学校展(資料配付会) 神戸阪急
- 8月24日 2学期始業式 通常授業開始
- 9月14,15,16日 学年別体育祭(体育の部代替)

11月8日	令和3年度入試説明会全5回(751名 昨年比▼75) 参加制限
11月14日	校内弁論大会(1,2年生)
1月	2年生・ハワイを沖縄県八重山へ変更(6月12日保護者連絡)
2月10日	令和3年度入学試験(志願者:1,968名)
2月19日	第68回卒業式
2月24日	2年生・沖縄県八重山への修学旅行中止(1月21日保護者連絡)

VI. 総括

- ・ 2021年度志願者は、昨年度比120名の減となった。本校募集エリアの中学生数が昨年度より1085名減となっていた。コロナ禍のため見学会・説明会において参加人数制限が必要であった。大阪私学のこれまで以上の攻勢(通学費補助)など大変厳しい状況があった。専願者183(特9+総174)の昨年比+23と回復したが、兵庫県立高校入試に第2学区においてオーバーが約270名とであることから併願入学者は大変厳しい状況にあった。持てる学校環境の活用・新規取り組み(塾戦略・募集担当戦略)などで魅力ある学校状況の発信力強化が急務である。
- ・ 2019年入学生より総合コースの1年生は、進路希望調査(*1)に基づくクラス編成を行う。2020年は、アスリート進学(1)、短大・専門学校・就職希望者の総合進学(3)、大学進学(2)の計6クラスとなった。昨年同様クラス間の学力差はみられるものの、同じ目標を持つ生徒が所属しているため指示等は通りやすい。
- ・ 本校独自の「自己発見プログラム」の柱の1つである、教育と探求社の探究学習プログラム「クエストエデュケーション」に特別進学コースの16名が4グループに分かれて取り組んだ。12月に学年の総合コースの生徒を聴衆にした発表会を持ち、1月に正式な学内発表会し、その様子はオンライン配信により主催者に送られた。後日、審査報告があり、富士通グループが27倍の狭き門を突破し全国大会への出場を得た。今年度はコロナ禍の状況から、2月20日にオンラインで全国大会ファーストステージが開催された。残念ながら、セカンドステージに進む事はできなかったが、審査員より好評を受けた。
- ・ 2年生のキャリア進学コース生徒が取り組む、キャリア探求とスキルアップ講座がスタート、キャリア探究は1年を4ブロックにわけ、大学・短期大学・専門学校の先生方を特別講師として招き、毎週木曜日の5,6時間目に実施。講座内容をもとに調査研究を行い、年2回の発表会を計画したが、コロナ禍の影響で、12月の1度だけの実施となった。3クラスの生徒が18チームにわかれ特徴ある発表を行った。全てのグループがパワーポイントを用いて発表した。金曜日のスキルアップ講座において、Excel、word、PowerPointのアプリケーションの授業を行っており、その学習成果を見ることができた。
- ・ 難関大学(現役:横浜国立1/浪人:大阪1)などの合格者が出ているが、基礎学力の向上なくして進路目標の達成はできない。日々の授業、補講、塾講師によるTT授業など全ての教育サービスを見直し、受験に必要な学力をつける教育と、未来の創り手となるために必要な資質・能力を備える教育を目指さなければならない。生徒が本校で学んで良かったと実感でき授業体制を構築する。
- ・ ICT教育について、2021年入学生より一人1台のiPad導入を決めた。3年間のレンタル方式を採用(レンタル費用は機器通信代併せ3,082円/月を生徒より徴収)。生徒急増時に情報教室を記念体育館1階に移転した。その時のPCが入れ替え時期となり、またiPadを年次進行で全校生に持たせ運用するにはシステム環境に問題があるため、情報教育システムを総合的に再構築することが必要となり、2021年度中に情報教室の移転と情報システムの改修が完了すること目指し改善・改修計画をすすめている。人的配置、予算措置など再整備が求められる。
- ・ 変形労働時間制による勤務形態が2年経過、時間外労働についても管理状況は改善されているが、完全な状況ではない。制度の理解を深め、新しい働き方を確立する必要がある。特に部活動の指導時間管理は大きな課題である。管理運営体制の見直しが必要。
- ・ 次年度以降に向け校内業務改革をすすめる、①生徒募集の戦略的取り組み ②校務運営改革に関すること ③生徒指導に関する(教務・進路・生徒指導)を役割分担を明確に行い、校長、教頭、主幹のリーダーシップのもと、強力にすすめたい。
- ・ 本年度の転退学者2.8%、特に1年生において例年より2.5ポイント大きくなった。コロナで、2カ月休校し6月に学校がはじまった影響が出ている可能性が考えられる。またSNSについて、三田松聖高校1年生というグループラインが存在し、約半数の生徒が登録していたとの報告があった。SNSの指導を怠らない体制を維持する。

湊川短期大学附属西舞子幼稚園 2020年度事業報告

(1) 在籍状況(利用定員200名 認可定員220人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
満3歳児	1	4	4	5	5	9	10	13	13	13	13	14	104
3歳児	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	756
4歳児	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	768
5歳児	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	768
計	202	205	205	206	206	210	211	214	214	214	214	215	2516

昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、4月に緊急事態宣言が発出、4月、5月は特別保育となり、新年度を迎えられたのは6月。始業式、入園式は分散・短縮で行い、分散登園からスタートし、全園児が揃って登園できたのは15日からだった。その後の行事も中止や短縮が多く、色々な制限の中であったが、行事の見直しや新たな取り組みなど見直す機会ともなった。保護者の協力と理解のもと、一年を何とか乗り越えたが、今後も支援体制をしっかりと整え、保護者に説明責任を果たしながら、確かなサポート・充実につなげ、行き届いた安定した園運営と、さらに広い視野に立って本園の特色の理解・支持の向上に努める。

(2) 運営・経営状況

・限りある職員数の中で、消毒や清掃などやらなければならない日々の作業が増え大変であったが、すべき事、時間の割り振り等、職員一人一人が理解を深めていっている。年度途中より育休中の職員が2人となり、ギリギリの職員人数の中、職員の予期せぬ病氣、怪我、出停など週によって、また日によってもシフト配置が変更されたが遂行できた。それは、しいては子どもを見守る安定した人的環境となっていたと実感する。

・退職者が、経験4年目、3年目の教諭がそれぞれ1名であった。また、1月より年長組担任が産休(育休)となり、主幹教諭が担任をすることになり、職員室が園長だけになることも多かった。昨年度に引き続き常勤教諭(正規)欠員1名となり、神陵台と兼務であった副園長も10月より神陵台に異動となり、職員室席が3席である。

(3) 怪我・事故

・園児の病院での診断、治療は、脳外科2、外科3、歯科1、眼科3だった。怪我をした時の対応など、園長・主幹だけでなく、それぞれが意識を高くもっていく。健康状態に配慮を要する園児は、今年度も、癲癇、発熱初期の熱性痙攣、重度の食物アレルギーなど多く、ダイナップ、エピペン等の薬剤を園で預かった。今後も全教諭で一人一人の病状理解し合いながら、初期対応に各教諭が最善を尽くせるよう(緊急時対応シミュレーション、AED研修、エピペン使用方法など)、スキルを高めていく。

(4) 子育て支援事業

・ひよこルーム(預かり保育): AM7:00~19:00 長期休暇中も有 1日平均約80人前後 各号により料金設定有
 ・つばみ教室: 月2回程度、登録10組。有料、満2歳以上未就園親子。親子体験遊び中心。園行事在園児交流
 ・すこやかひろば: 月2回程度、満1歳以上未就園親子。随時登録可。地域友達との触れ合いの場とする。
 ・わくわくようちえん: 就学前幼児対象、年間48回、園にて年長児と共に幼児教育体験。本年度該当なし。
 ※つばみ教室、すこやかひろば、わくわくようちえんは、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、6月より実施。

(5) 職員研修

・新任研修(年5回)・附属5園、短大研修
 ・県、神私幼連盟研究会(特別支援研修(2名)、専門研修(4名)、主任研修・10年目研修(1名))
 ・私立幼稚園研修会・幼小連絡会(小学校長、幼稚園、保育園長)
 ※新型コロナウイルス感染拡大の為、リモートでの研修

(6) 購入・修繕等

・購入・修繕 特になし

(7) 異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウィーク(新型コロナウイルス感染拡大の為、中止)
 ・実習生受け入れ・交通安全教室(垂水警察来園指導)・就学前事業(新型コロナウイルス感染拡大の為、中止)
 ・消防署体験訪問(新型コロナウイルス感染拡大の為、中止)
 ・プレ親体験交流学習(新型コロナウイルス感染拡大の為、中止)

(8) 広報・社会活動

・園児育て支援活動PRボード作成掲示(区保健所担当窓口)・神幼研ホームページ園紹介内容の更新PR向上
 ・幼稚園ホームページの更新充実と各学年 ブログ更新(1~2週間ごと)

(9) 園内研究(委員会)活動

・園内研究会(各学期ごと)の実施・行事に向かったの全学年保育実践協議・検討(必要に応じ)
 ・子どもの発達に添った実践を基にした話し合い・年間通しての保育日誌に基づく保育内容指導
 ・園長からの保育参考資料配布・市特別支援教育インクルーシブ教育相談員訪問観察指導(年2回実施)
 ・(県)キンダーカウンセラー訪問指導(年6回)

湊川短期大学附属 神陵台 幼稚園 2020年度事業報告

(1)在籍状況(認可定員 240名 ・ 利用定員 180名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳児	44	44	44	43	43	43	44	44	44	43	43	43	522
4歳児	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	672
5歳児	57	57	57	57	56	56	56	56	56	56	56	56	676
計	157	157	157	156	155	155	156	156	156	155	155	155	1870

(2)運営・経営状況

・幼稚園型認定こども園となり7年目。職員補充の問題で満3歳児の募集を行わなかったこともあり、利用定員が180名に対し157名と、過去数年と比較しても園児数が減少した。園児募集について対策が必要である。

・6月にコロナ禍での保育が始まった。感染対策(職員・園児のマスク着用、手洗い・指消毒、玩具・設備消毒、食事時の飛沫感染ガード設置)をしながら対応した。保護者も大変協力的であった。保育の質を守りつつ、行事等は、内容の縮小、時間短縮をし、保護者参加を制限ながらではあるが開催した。全園児での触れ合いができなかったのが残念ではあるが、子どもの育ちの為に工夫して保育を行った。

・園長と教諭(1名)が9月に退職し、養護教諭が10月から3月までケガで療養、常勤教諭が体調不良で9月から12月まで療養していた。常勤的教諭(1名)を補充したが、職員配置が不安定だった。保護者からの心配の声が聞かれるので、安心して預けていただける環境づくりに励みたい。

(3)怪我・事故

・外科2件

友達と衝突して前歯を脱臼 3件 、 友達と激突して陰部打撲 1件、

(4)子育て支援事業

・私立幼稚園2歳児子育て応援事業「いちご教室」(在宅2歳児対象)は、2020年度は実施していない。

・みんなの幼稚園事業の「ふれあい広場」(未就園児対象、)は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、人数を制限、完全予約制とした。参加者は数名。

・わくわく幼稚園の開設事業(在宅5歳児)を開設するが本年度も申し込みなし。

(5)職員研修

・新型コロナウイルスの影響でリモートで研修を受講

私立幼稚園教員子育て支援研修、兵庫県私立幼稚園協会主催第35回近畿地区私立幼稚園教員研修大会
神戸市保育園連盟キャリアアップ研修

・会場での研修を受講

附属園研修、神戸市私立神戸地区私立学校・幼稚園人権教育研究協議会

(6)購入・修繕等

・保育室倉庫・外階段電気取り付け工事、園児テーブル6台購入

(7)異年齢交流・連携事業活動

・トライやる・ウィーク(神陵台中・長坂中) ・神陵台小学校との交流体験活動(プレ小学生)

・中学校との交流(長坂中・神陵台中) ・プレ親体験 2校

※計画はしていたが、新型コロナウイルスの影響ですべて中止となる。

・幼稚園実習生受け入れ 1名

(8)広報・社会活動

・神戸市こども家庭局のHP等への情報提供(預かり保育実施園一覧表)

・広報誌(ちやいどのーと・神戸市垂水区版)に情報掲載

(9)園内研究(委員会)活動

・園内での保育研究 5～6月に実施。園内の教諭同士で保育を見学し合い、保育について話し合いをする。

湊川短期大学附属北摂第一幼稚園 2020年度事業報告

(1)在籍状況(認可定員300名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
2歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳児	57	58	58	58	58	58	58	58	58	59	58	59	697
4歳児	76	76	76	76	76	76	76	76	76	77	77	77	915
5歳児	83	84	84	84	84	85	85	85	85	83	84	84	1010
計	230	232	232	232	232	233	233	233	233	233	233	234	2790
入所率	159%	160%	160%	160%	160%	161%	161%	161%	161%	161%	161%	161%	

(2)運営・経営状況

- ・クラス数については昨年度同様である。
- ・職員の退職は正規5名、非常勤3名である。新規採用は3名、異動2名である。
- ・担任(常勤)、副担任(非常勤)と9クラス全て2人体制で取り組みが出来た。
- ・コロナ禍のため、学級委員は選出せずに保護者の会三役のみを決めて取り組んだ。園運営には大変協力的で、良い関係性の中で終えることができた。
- ・1号認定子どもの預かり保育利用児が前年度よりも増加している。(新2号認定児も多い)

(3)怪我・事故

- ・病院での診断、治療・・・6回(整形外科2件、外科1件、皮膚科1件、小児科2件)受診。

(4)子育て支援事業

- ・すこやか広場、月に2回実施(園庭開放・職員と遊ぼう・教育相談)
- ・あいあいルーム
親子コース 月2～3回 (延べ利用者数 531名)
こどもコース 月3～4回 (延べ利用者数 302名) 計833名
本年度も非常に好評で利用者が年々増加し、嬉しい悲鳴をあげている。
先に述べたあいあいルームを経験された方がそのまま幼稚園に入園したいという希望者が多い。
内容的にも充実しているので、希望者が多いのではないかと推察できる。

(5)職員研修

- ・キャリアアップ研修、新任研修
- ・特別支援教育では、本園児が通園している療育施設に担任が出向いたり、逆に園に来て普段の様子を見ていただいたりし、担当職員の方に丁寧に教えていただき、両輪で園児の成長に向けて取り組むことができた。

(6)購入・修繕等

- ・2階テラスの修繕(ゴムチップ施工)

(7)異年齢交流・連携事業活動

- ・教育実習受入。
- ・武庫小学校との交流
- ・武庫小校区 武庫っこまつりに参加(4歳児有志参加)

(8)広報・社会活動

- ・三田市と連携し、子育て支援事業の掲載。

(9)その他

- ・特別支援の必要な園児への対応を学ぶため、県から派遣されているキンダーカウンセラーの先生にお越しいただき、ご指導いただいた。

湊川短期大学附属北摂中央幼稚園 2020年度事業報告

(1)在籍状況(利用定員290名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前年度3月
満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳児	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	90
4歳児	82	82	82	82	83	83	83	83	83	82	82	82	88
5歳児	93	93	93	93	94	94	94	93	93	93	94	94	84
計	256	256	256	256	258	258	258	257	257	256	257	257	262

* 昨年度と比較して

前年度より若干減少した。年長組は中国からコロナ感染防止で1名帰国子女を3ヶ月受け入れ、1月から転園で1名受け入れた。発達支援の加配要員を3クラスに配置した。

新型コロナウイルス感染拡大防止で4～5月は特別保育となり、6月1日から開園した。

一年を通じて感染防止の対策に努めた。

(2)運営・クラス状況

新規採用は常勤養護教諭1名、常勤栄養士1名、非常5人。運営は比較的安定した一年であった。保護者の会の活動はコロナ対応で一部中止、内容見直し、分散型で実施した。親子学級は中止した。

(3)怪我・事故

- ・病院で診断、治療を受けた回数は14回
(外科・整形外科 7件 歯科 5件 眼科 2件)
主な内容は挫創、歯茎出血、剥離骨折、眼球炎症等であった。

(4)子育て支援

- ・14組の親子を受け入れた。申し込みは例年同様に多いが、個別配慮の必要な子どもを考慮しているため。
色々な企画や内容的にも充実した取り組みを行った。

(5)職員研修

- ・新任研修、県、市主催の研修等はリモート、人数制限付きの対面等で実施した。キャリアアップ研修、保幼小中連携研修、特別支援研修等は希望者のみ参加した。年度末の教員研修大会や新任研修等、3月に予定されていた研修は新型コロナウイルス感染拡大防止によりリモート開催となった。

(6)異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク、祥雲館高校との交流は中止。三田西陵高校は芋掘りは実施できた。すずかけ台小学校との交流は全て中止。波豆川地区とは田植、稲刈り、芋の苗植え、収穫、しめ縄作りなど多くの交流活動ができた。

(7)広報・社会活動

- ・笑顔ですくすくSUNだっこ、ハニーFMのラジオ出演等行った。

(8)園内研究(委員会)活動

- ・キンダーカウンセラーとのカンファレンス、三田市教育委員会、保育振興課からの教育相談、保育サポート、巡回相談は予定通り実施した。公開保育は2月に三田あさひ幼稚園と合同で実施した。

湊川短期大学附属北摂学園幼稚園 2020年度事業報告

(1)在籍状況(認可定員145名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳児	35	35	34	33	33	34	35	35	35	35	35	35	414
4歳児	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	660
5歳児	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	624
計	142	142	141	140	140	141	142	142	142	142	142	142	1698
入所率	98%	98%	97%	97%	97%	97%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	

* 昨年度と比較して

・入園率4月より95%以上保持。

2019年度 3月140名 2020年度 3月142名

(2)運営・経営状況

年度を過ぎ、3月初旬から新型コロナウイルス感染拡大防止対策として過程保育の要請や休園措置をとり保育が始められたのが6月からであった。今年度の園経営第1に「こどもの健康安全」を掲げ、その上で「保育の質を保つ」こと、そして「主要な行事は何としてもやり抜く。」この矛盾するような難しい3つのことを、職員が一丸となって成し遂げてくれた。142名の園児がそれぞれ大きく成長して、保護者の方々から高い評価がいただけた。来年度に向けてより一層研鑽を積み、地域に根を張った信頼される幼稚園となるよう、皆で力を合わせて一生懸命頑張っていきたい。

(3)怪我・事故

病院で診断・治療を受けた回数6回(外科3回、眼科1回、形成外科1回、歯科1回)

(4)子育て支援事業

・未就園児とその保護者の為の「すこやかひろば」を開設、又園庭開放びを設け親子遊び体験、絵本の読み聞かせ等を行った。

※緊急事態宣言中は活動なし

・兵庫県わくわくようちえん事業

(5)職員研修

・特別支援連携・学校園所連携・三私幼研究部会(教員研修大会)・公開保育研修

(6)購入・修繕等

購入 業務用空気清浄機2台 保育室エアコン

修繕 保育室エアコン

(7)異年齢交流・連携事業活動

・湊川短大実習生受け入れ・県立三田西陵高校保育体験等を実施した。

(8)広報・社会活動

・コロナ禍にあり、地域活動等は自粛・タウン誌園情報掲載

(9)園内研究(委員会)活動

・保育研究会議・保育室環境整備会議・特別支援に係る会議・安全対策委員会・感染症対策委員会・アレルギーについての会議

湊川短期大学附属キッズポート保育園 2020年度事業報告

(1)在籍状況(定員70名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	5	5	5	6	6	7	8	8	8	9	9	10	86
1歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
2歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
3歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
4歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
5歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
計	78	78	78	79	79	80	81	81	81	82	82	83	962
入所率	111%	111%	111%	113%	113%	114%	116%	116%	116%	117%	117%	119%	115%

(2)運営・経営状況

産前後～育児休暇に入る常勤職員が2名(4月に1名、7月に1名)いた為、0歳児クラスの受け入れ人数を調整したため、例年より少なく入所率がひくくなっている。

(3)怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数は11回(歯科5件、形成外1件、小児科4件、眼科1件)いずれの怪我も完済。

(日本スポーツ振興センターに災害給付金申請は7件。歯科1件、形成外科1件、小児科4件、眼科1件ともに1件ずつ) ※その他は1回の受診で完治。小児科は4件中3件が肘内障によるもので、午睡明けや遊具に自分でぶら下がった際に起こった。

(4)子育て支援事業

- ・三田市子育てステーション事業を7月～1月、3月に毎月1回実施した。※緊急事態宣言中は中止
- ・兵庫県委託事業の乳幼児応援事業は年48回の予定であったが新型コロナウイルスの影響により実施内容を一部変更し園庭開放中心で行った。

(5)職員研修

- ・園外研修
今年度はコロナウィルスの影響により、例年行われている研修が中止になることが多かったが、処遇改善のキャリアアップ研修、わらべうたや乳児保育のリモート研修等に意欲的に参加できた。
※キャリアアップ研修(障害児、保護者支援、乳児、食物アレルギー、マネジメント)
※コダーイ研修(乳児初級、乳児保育、わらべうた)
※その他、保育課題サポート研修、HCCP衛生リモート研修
- ・園内研修
※乳児支援研修

(6)購入・修繕等

- ・2階廊下とトイレの屋根の漏水補修工事

(7)異年齢交流・連携事業活動

- ・とらいやるウィークは三田市、神戸市ともに中止になった。
篠山鳳鳴高校1日体験保育、三田西陵高校保育体験(予定より日数が少なくなった)
すずかけ台小学校との交流会(行事見学・学校内探検)
保育士養成校の保育、実習生受け入れ等を実施。

(8)広報・社会活動

・三田市内認可保育園所・幼稚園合同による就職フェアはコロナウィルス感染拡大等を考慮し、参加を見合わせた。

(9)園内研究(委員会)活動

- ・ひやりハット委員会、幼児クラス保育会議、乳児クラス保育会議
- ・離乳食会議、給食会議、アレルギー児配食会議等を行った。

湊川短期大学附属ぽるとこども園 2020年度事業報告

(1)在籍状況(定員19名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	1	1	2	2	2	3	3	3	3	3	4	4	31
1歳児	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	9	86
2歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
計	17	17	18	18	18	19	19	19	19	19	20	20	223
入所率	89%	89%	95%	95%	95%	100%	100%	100%	100%	100%	105%	105%	98%

(2)運営・経営状況

開園4年目となり、保育の内容は少し落ち着いてきたようにも感じるが一方で慣れからか自分達の改善点が見えなくなっていた。保育について基本に帰り、職員の資質向上を改めて進めていきたい。経営においては、0歳児の入所希望があり安定した。

(3)怪我・事故

・園での怪我や事故は少なく、受診を要する怪我や病気もなかった為日本スポーツ振興センターの利用はなかった。

(4)職員研修

・短期大学・附属園 教育・保育研究会

キッズポート保育園見学、キャリアアップ研修、三田市課題サポート研修

(5)連携事業活動

・連携園との交流活動

(6)園内研究(委員会活動)

・ひやりハット委員会

・離乳食・アレルギー児対応会議等を行った。

3 財務の概要

学校法人 湊川相野学園

◇ 計算書類の読み方 ◇

学校会計の計算書類は、一会計期間における資金の収入及び支出の流れを明らかにする資金収支計算書、一会計期間の経営状態を明らかにした事業活動収支計算書及び、一定時点の財政状況を示した貸借対照表があります。

資金収支計算書は、その年度の教育・研究諸活動に対応する資金の使途（資金支出）とこれに対する資金の調達（資金収入）のすべてを明らかにしたものです。通常の研究教育に関わる収入・支出とともに、施設の建設や借入金等も含んだ全ての資金を伴う収入・支出が掲載されております。また、平成27年度より、活動区分資金収支計算書の作成が義務付けられました。活動区分は、教育活動・施設整備活動・その他の活動に区分され、学校にどのような収入がありこれをどう使っているか、また、資金繰りの健全性があるかを表しています。

事業活動収支計算では、教育活動収支と教育活動外収支及び特別収支に分かれております。教育活動における収支差額を教育収支差額といい、教育活動外収支までを含めた収支差額を経常収支差額といいます。さらに、特別収支差額も含めた収支差額が基本金組入前当年度収支差額となります。これらは、バランスの均衡状態を明らかにすることと、経営成績を明示することを目的としています。もし、このバランスがとれず支出超過（赤字）ということになれば、健全な財政状態とはいえません。赤字解消に努力しなければ、教育・研究活動に支障をきたすことになりかねません。

貸借対照表は通常の企業会計とは異なり固定性配列法で表示しております。固定性配列法とは、配列を資産・負債の換金性の面からとらえ、換金性が低い、すなわち固定性の高い項目の順に並べる方法です。この配列法は公益事業、鉱山業など固定資産の比重の高い企業の設備資金の分析に有用であるとされています。

基本金組入れは、学校がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持することを要求されていることから、基本金対象資産として定められた資産相当額は、明確に区分し、事業活動支出に充てるべきでないという学校法人会計の基本的な考え方に基づく会計処理です。

今回の会計基準の改正では、以前のように、帰属収入から基本金組入額を控除して消費収入を算出するのではなく、基本金組入前当年度収支差額がわかりやすい計算方式となっています。

なお、基本金および基本金の対象となる資産は、具体的に次のものをいいます。

① 第1号基本金

施設・設備などの固定資産（図書を含む）の取得額

② 第2号基本金

将来の施設取得等のために収受した寄付金等を、あらかじめ計画的に積み立てる金銭等資産の額

③ 第3号基本金

奨学金等の基金として保持し運用する金銭等資産の額

④ 第4号基本金

恒常的に保持すべき資金（消費支出の1カ月分）

以上のように、基本金には、必ず対応する資産がありますが、基本金自体は何らの資産ではありません。基本金は、学校が継続して維持すべき資産を概念的に金額で表した規模ということになります。

2020年度

財務報告

●資金収支計算書●事業活動収支計算書●貸借対照表
●活動区分資金収支計算書(千円単位四捨五入のため差異あり)

学校法人 湊川相野学園

資金収支計算書
2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,439,163	1,439,807	△ 644	学生生徒等納付金収入	666,272	666,486	△ 214
教育研究経費支出	298,507	310,495	△ 11,988	手数料収入	42,745	42,995	△ 250
管理経費支出	294,684	298,342	△ 3,658	寄付金収入	8,214	6,407	1,807
借入金等利息支出	1,704	1,704	0	補助金収入	1,280,918	1,298,099	△ 17,181
借入金等返済支出	19,440	19,440	0	資産運用収入	25,906	24,651	1,255
施設関係支出	107,503	106,260	1,243	資産売却収入	717,286	717,286	0
設備関係支出	17,696	13,575	4,121	事業収入	81,454	84,315	△ 2,861
資産運用支出	531,391	598,142	△ 66,752	雑収入	35,325	40,139	△ 4,814
その他の支出	1,008,915	1,260,956	△ 252,041	借入金等収入	0	0	0
予備費	0	0	0	前受金収入	127,712	161,699	△ 33,987
資金支出調整勘定	△ 13,616	△ 61,030	47,414	その他の収入	883,412	1,347,844	△ 464,432
次年度繰越支払資金	1,530,880	1,834,727	△ 303,847	資金収入調整勘定	△ 258,814	△ 193,339	△ 65,475
				前年度繰越支払資金	1,625,839	1,625,839	0
支出の部合計	5,236,267	5,822,419	△ 586,152	収入の部合計	5,236,267	5,822,419	△ 586,152

事業活動収支計算書
2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費	1,439,163	1,450,064	△ 10,901	学生生徒等納付金	666,272	666,486	△ 214
教育研究経費	495,237	508,141	△ 12,904	手数料	42,745	42,995	△ 250
管理経費	274,407	275,764	△ 1,357	寄付金	8,214	6,407	1,807
徴収不能引当金繰入額	0	0	0	補助金	1,280,918	1,298,099	△ 17,181
				事業収入	81,454	84,315	△ 2,861
				雑収入	35,325	40,139	△ 4,814
教育活動収支差額	△ 93,880	△ 95,529	1,649				
借入金等利息	1,704	1,704	0	受取利息・配当金	25,906	24,651	1,255
その他の教育活動外収	0	0	0	その他の教育活動外収	0	0	0
教育活動外収支差額	24,202	22,947	1,255				
資産処分差額	0	1,690	△ 1,690	資産処分差額	0	10,713	△ 10,713
その他の特別支出	37,659	40,397	△ 2,738	その他の特別収入	0	1,353	△ 1,353
特別収支差額	0	△ 30,021	30,021				
支出の部合計	2,248,170	2,277,760	△ 29,590	収入の部合計	2,140,833	2,175,158	△ 34,325
予備費	0	0	0				
基本金組入前当年度収支差額	△ 107,337	△ 102,602	△ 4,734				
基本金組入額合計	△ 144,739	△ 203,174	58,435				
当年度収支差額	△ 252,076	△ 305,776	53,700				
前年度繰越収支差額	△ 271,440	△ 420,270	148,830				
基本金取崩額	100,000	100,000	0				
翌年度繰越消費収入超過額	△ 423,516	△ 626,046	202,530				

貸借対照表
2021年3月31日

(単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	8,115,253	8,434,649	△ 319,396
(1)有形固定資産	5,770,715	5,863,704	△ 92,990
(2)その他の固定資産	2,344,538	2,570,945	△ 226,407
流動資産	1,879,823	1,782,097	97,726
合計	9,995,076	10,216,746	△ 221,670

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	476,318	485,501	△ 9,183
流動負債	286,369	396,254	△ 109,885

第1号基本金	9,550,435	9,411,261	139,174
第2号基本金	135,000	171,000	△ 36,000
第4号基本金	173,000	173,000	0
繰越収支差額	△ 626,046	△ 420,270	△ 205,776

合計	9,995,076	10,216,746	△ 221,670
----	-----------	------------	-----------

活動区分資金収支計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位 千円)

教育活動による資金収支	
項目	金額
教育活動資金収入計	2,138,440
教育活動資金支出計	2,008,247
差引	130,193
調整勘定等	3,570
教育活動資金収支差額	133,763
施設整備等活動による資金収支	
項目	金額
施設整備等活動資金収入計	100,000
施設整備等活動資金支出計	186,661
差引	△ 86,661
調整勘定等	1,066
施設整備等活動資金収支差額	△ 85,595
その他活動による資金収支	
項目	金額
その他活動資金収入計	1,843,137
その他活動資金支出計	1,682,493
差引	160,645
調整勘定等	76
施設整備等活動資金収支差額	160,720
支払資金の増減額	208,888
前年度繰越支払資金	1,625,839
翌年度繰越支払資金	1,834,727

過去5カ年の財務の推移表

単位 千円

資金収支計算書	2016年度			2017年度			2018年度			2019年度			2020年度		
	短大343名 高校1,169名 幼稚園933名 保育所79名			短大358名 高校1,183名 幼稚園958名 保育所95名			短大325名 高校1,060名 幼稚園990名 保育所101名			短大268名 高校890名 幼稚園999名 保育所100名			短大241名 高校744名 幼稚園984名 保育所95名		
大科目				金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金収入	1,089,217	17.8%		1,110,677	20.1%		1,021,964	17.2%		839,314	10.7%		679,686	11.6%	
手数料収入	45,848	0.8%		42,376	0.8%		37,902	0.6%		38,569	0.5%		42,995	0.7%	
寄付金収入	17,737	0.3%		10,019	0.2%		11,010	0.2%		43,732	0.6%		6,407	0.1%	
補助金収入	1,485,307	24.3%		1,115,203	20.2%		1,161,611	19.6%		1,220,909	15.5%		1,298,099	22.2%	
資産運用収入	42,855	0.7%		40,558	0.7%		43,383	0.7%		31,188	0.4%		24,651	0.4%	
資産売却収入	1,154,630	18.9%		673,049	12.2%		1,378,800	23.2%		1,854,048	23.5%		717,286	12.3%	
事業収入	88,802	1.5%		107,011	1.9%		105,873	1.8%		102,004	1.3%		84,315	1.4%	
雑収入	60,245	1.0%		44,786	0.8%		72,326	1.2%		156,118	2.0%		40,139	0.7%	
借入金等収入	200,000	3.3%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
前受金収入	250,674	4.1%		219,957	4.0%		172,999	2.9%		151,915	1.9%		161,699	2.8%	
その他の収入	717,643	11.8%		954,090	17.3%		673,054	11.3%		2,173,141	27.6%		1,347,844	23.1%	
資金収入調整勘定	△ 750,545	-12.3%		△ 297,230	-5.4%		△ 273,170	-4.6%		△ 322,042	-4.1%		△ 193,339	-3.3%	
前年度繰越支払資金	1,702,870	27.9%		1,510,409	27.3%		1,526,825	25.7%		1,587,980	20.2%		1,625,839	27.9%	
資金収入合計	6,105,283	100.0%		5,530,905	100.0%		5,932,576	100.0%		7,876,876	100.0%		5,835,619	100.0%	
人件費	1,356,758	22.2%		1,507,800	27.3%		1,528,416	25.8%		1,620,596	20.6%		1,439,807	24.7%	
教育研究経費支出	383,912	6.3%		453,186	8.2%		333,889	5.6%		342,034	4.3%		323,695	5.5%	
管理経費支出	279,019	4.6%		288,278	5.2%		269,053	4.5%		281,663	3.6%		298,342	5.1%	
借入金等利息支出	750	0.0%		1,891	0.0%		1,887	0.0%		1,812	0.0%		1,704	0.0%	
借入金等返済支出	0	0.0%		8,390	0.2%		8,330	0.1%		19,460	0.2%		19,440	0.3%	
施設関係支出	1,322,032	21.7%		416,056	7.5%		300,997	5.1%		28,855	0.4%		106,260	1.8%	
設備関係支出	76,725	1.3%		20,214	0.4%		20,963	0.4%		15,307	0.2%		13,575	0.2%	
資産運用支出	917,978	15.0%		990,984	17.9%		1,318,472	22.2%		1,976,189	25.1%		598,142	10.2%	
その他の支出	394,625	6.5%		411,481	7.4%		641,214	10.8%		2,137,961	27.1%		1,260,956	21.6%	
資金支出調整勘定	△ 136,925	-2.2%		△ 94,200	-1.7%		△ 78,625	-1.3%		△ 172,840	-2.2%		△ 61,030	-1.0%	
次年度繰越支払資金	1,510,409	24.7%		1,526,825	27.6%		1,587,980	26.8%		1,625,839	20.6%		1,834,727	31.4%	
資金支出合計	6,105,283	100.0%		5,530,905	100.0%		5,932,576	100.0%		7,876,876	100.0%		5,835,619	100.0%	

過去5カ年の財務の推移表②

単位 千円

事業活動収支計算書	2016年度			2017年度			2018年度			2019年度			2020年度		
	短大343名 高校1,169名 幼稚園933名 保育所79名			短大358名 高校1,183名 幼稚園958名 保育所95名			短大325名 高校1,060名 幼稚園990名 保育所101名			短大268名 高校890名 幼稚園999名 保育所100名			短大241名 高校744名 幼稚園984名 保育所95名		
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金	1,089,217	46.5%		1,110,677	45.7%		1,021,964	42.4%		839,314	35.2%		679,686	31.6%	
手数料	45,848	2.0%		42,376	1.7%		37,902	1.6%		38,569	1.6%		42,995	2.0%	
寄付金	5,570	0.2%		10,019	0.4%		11,010	0.5%		43,732	1.8%		6,407	0.3%	
補助金	1,050,582	44.9%		1,114,041	45.9%		1,160,411	48.2%		1,215,351	50.9%		1,298,099	60.3%	
事業収入	88,802	3.8%		107,011	4.4%		105,873	4.4%		102,004	4.3%		84,315	3.9%	
雑収入	60,245	2.6%		44,786	1.8%		72,326	3.0%		147,618	6.2%		40,139	1.9%	
教育活動収入計	2,340,264	100.0%		2,428,909	100.0%		2,409,485	100.0%		2,386,587	100.0%		2,151,640	100.0%	
人件費	1,355,790	57.9%		1,499,273	61.7%		1,527,460	63.4%		1,620,774	67.9%		1,450,064	67.4%	
(教育研究経費支出)	(339,545)	14.5%		(382,550)	15.7%		(271,801)	11.3%		(276,469)	11.6%		(243,275)	11.3%	
(奨学費支出)	(44,366)	1.9%		(72,079)	3.0%		(63,531)	2.6%		(65,565)	2.7%		(80,420)	3.7%	
(減価償却額)	(142,088)	6.1%		(171,763)	7.1%		(181,918)	7.6%		(195,406)	8.2%		(197,646)	9.2%	
教育研究経費 合計	525,999	22.5%		626,392	25.8%		517,250	21.5%		537,440	22.5%		521,341	24.2%	
(管理経費支出)	(279,019)	11.9%		(288,278)	11.9%		(269,053)	11.2%		(281,123)	11.8%		(257,945)	12.0%	
(減価償却額)	(14,862)	0.6%		(18,159)	0.7%		(17,498)	0.7%		(19,009)	0.8%		(17,819)	0.8%	
管理経費 合計	293,881	12.6%		306,437	12.6%		286,551	11.9%		300,132	12.6%		275,764	12.8%	
徴収不能引当金繰入額	31	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動支出計	2,175,701	93.0%		2,432,103	100.1%		2,331,260	96.8%		2,458,345	103.0%		2,247,169	104.4%	
教育活動収支差額	164,563	7.0%		△3,194	-0.1%		78,225	3.2%		△71,758	-3.0%		△95,529	-4.4%	
受取利息・配当金	42,855	1.8%		40,558	1.7%		43,383	1.8%		31,188	1.3%		24,651	1.1%	
その他の教育活動外収入	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動外収入計	42,855	1.8%		40,558	1.7%		43,383	1.8%		31,188	1.3%		24,651	1.1%	
借入金等利息	750	0.0%		1,891	0.1%		1,887	0.1%		1,812	0.1%		1,704	0.1%	
その他の教育活動外支出	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動外支出計	750	0.0%		1,891	0.1%		1,887	0.1%		1,812	0.1%		1,704	0.1%	
教育活動外収支差額	42,105	1.8%		38,666	1.6%		41,495	1.7%		29,376	1.2%		22,947	1.1%	
経常収支差額	206,668	8.8%		35,473	1.5%		119,720	5.0%		△42,382	-1.8%		△72,582	-3.4%	
資産売却差額	166	0.0%		2,753	0.1%		4,196	0.2%		16,842	0.7%		10,713	0.5%	
その他の特別収入	449,688	19.2%		6,599	0.3%		3,288	0.1%		8,761	0.4%		1,353	0.1%	
特別収入計	449,854	19.2%		9,352	0.4%		7,483	0.3%		25,603	1.1%		12,066	0.6%	
資産処分差額	153,107	6.5%		648	0.0%		39	0.0%		29,635	1.2%		1,690	0.1%	
その他の特別支出	0	0.0%		0	0.0%		12,502	0.5%		605	0.0%		40,397	1.9%	
特別支出計	153,107	6.5%		648	0.0%		12,541	0.5%		30,240	1.3%		42,087	2.0%	
特別収支差額	296,747	12.7%		8,703	0.4%		△5,058	-0.2%		△4,637	-0.2%		△30,021	-1.4%	
基本金組入前当年度収支差額	503,415	21.5%		44,176	1.8%		114,663	4.8%		△47,019	-2.0%		△102,602	-4.8%	
基本金組入額合計	△583,282	-24.9%		△479,420	-19.7%		△431,904	-17.9%		△148,959	-6.2%		△203,174	-9.4%	
当年度収支差額	△79,868	-3.4%		△435,245	-17.9%		△317,242	-13.2%		△195,979	-8.2%		△305,776	-14.2%	
前年度繰越収支差額	514,176			527,784			92,950			△224,292			△420,270		
基本金取崩額	93,476			0			0						100,000		
翌年度繰越収支差額	527,784			92,540			△224,292			△420,270			△626,046		

※各比率は教育活動収入に対する比率。

令和3年5月21日

監 査 報 告 書

学校法人 湊川相野学園
理事長 浅井 祐子 殿

学校法人 湊川相野学園

監 事 下山 隆一郎

監 事 木寅 文雄

私たちは、学校法人湊川相野学園の監事として、私立学校法第37条3項に基づく監査報告を行うため、学校法人湊川相野学園寄附行為第17条の規定に従い、令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）における計算書類（資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表並びに附属明細表）、学園の業務若しくは財産の状況、及び理事の業務執行の状況について監査を行いました。

私たちは監査を行うにあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは学校法人湊川相野学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、事業報告書、財産目録及び計算書類は会計諸帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人湊川相野学園の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認められました。

以上